



3
22

産地の維持・発展のために 枝物生産者大会を開催

花き連絡会は、枝物のブランド力を強化し、産地を維持・発展させるため、浜名区の「みをつくし文化センター」で枝物生産者大会を開きました。生産者、市場関係者、行政職員、JA役員ら約230人が出席し、情勢報告の後、今後の取組計画などを確認しました。



3
21

畜産生産者らが参列 感謝と鎮魂の祈り「畜霊祭」

畜産営農センターは1年間にと畜された家畜を供養するため、毎年、年度末に畜霊祭を行っています。畜産生産者や行政機関、関連団体、JA役員27名が参列。「畜魂」と刻まれた慰霊碑の前で住職が読経する中、焼香して手を合わせ感謝と鎮魂の祈りを込めました。



3
6
13
19

学んだことを今後にかして 「とぴあ園芸教室」の修了式

各営農センターや支店の4会場で、就農支援講座「とぴあ園芸教室」の修了式を開きました。令和5年度の受講者数は、各コース合計で61人でした。受講者は1年間12回の座学や畑での実習、動画視聴などで栽培技術や経営、販売の過程を学んできました。



3
2
3
4

春を呼ぶ、みどりの祭典 第50回浜北植木まつり

浜北営農緑花木センターで50回目の節目となる浜北植木まつりを開催しました。同センター内にある植木神社で神事を行った後、餅投げや植木オークション、病害虫の防除セミナー、植木剪定講習会、盆栽教室などを開き、多くの来場者でにぎわいました。



4
1

新たに22人が仲間入り 令和6年度入組式

本店で令和6年度新規採用職員入組式を開き、新入職員22人が出席しました。渥美保広会長と竹内章雄理事長のあいさつの後、新入職員を代表して大野真生が辞令を受け取り、五十幡ゆうかが「期待に沿えるよう、仕事に全力を尽くします」と決意表明しました。



3
16

もしももに備え葬祭を知る 図書館で葬祭セミナー初開催

浜松市立都田図書館で葬祭セミナーを開き、地域住民17人が参加しました。とぴあが図書館で葬祭セミナーを開催するのは今回が初めて。参加者は、家族葬など多様化する葬儀の種類や費用、近年話題の終活についてなど、もしももの時に備えて理解を深めました。



3
19

詐欺被害未然防止で感謝状 曳馬支店が警察署から表彰

特殊詐欺による被害を未然に防いだとして、浜松中央警察署から曳馬支店に感謝状が贈られました。山本和男支店長は「詐欺と感じたときの違和感など細かいところまで職員同士で共有し、これからも支店全体で詐欺の未然防止に取り組んでいきたい」と話しました。



3
8

高糖度でシャキッと食感! 砂糖えんどう暖候期目ぞろい会

湖西集荷場で砂糖えんどうの暖候期目ぞろい会を開きました。生産者やJA静岡経済連職員、JA担当者20人が参加し、サンプルを手に取り大きさや形、カラースケールを使用した色の比較など出荷規格を確認。北陸や京浜市場を中心に4月下旬まで出荷しました。

